



希望の星だより

令和4年 2月号
 発行 希望の星保育園
 園長 兼城佐代子
 編集: 知念・田里
 兼城・仲村
 ☎972-3800

寒さの中にも時折温かい日差しが見られたりと、まだまだ気候が定まらない時期ですが、暦の上ではもうすぐ立春。北部の方では桜も満開に咲いている所もあるようです。保育園の庭でも桜が咲き始め春の訪れを感じることができます。

登園してきた子どもたちは、天気がいいと「せんせーい太陽出てきたよ～。園庭に行けるんじゃない?」と外へ…。冷たい風を感じながら走ったり、鬼ごっこをしながら体力作りに励んでいますよ。

さて、今月はすぐに節分の行事があり「鬼は外～、福は内～」と子ども達が楽しみ!! にしている豆まきがあります。季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て追い払う儀式だそうです。現在は新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続いていますが、みんなで願いを込めて払いのけたいと思います。

今年度もあと残り2ヶ月ですが、子ども達の成長を振り返り卒園・進級に向け一人ひとりにとって大切な月になってきます。引き続き感染防止対策にご協力頂きながら充実した保育が取り組めるよう気を引き締めて頑張っていきたいと思います。



2月の行事予定



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1 リズム	2 体操教室	3 豆まき集会 	4	5
6	7	8 避難訓練	9 体操教室	10 記念撮影	11 建国記念の日	12
13	14 身体測定	15 リズム	16 体操教室	17 お誕生会 (お弁当)	18	19
20	21	22	23 天皇誕生日	24	25	26
27	28					

2022年の節分は『2月3日』

節分は2月3日がしばらく続いていましたが、実は2月2日になったり、2月4日になったりします。2021年から4年に1度、節分の日が2月2日になります。

節分とは…季節の分かれ目の意味で元々は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」のそれぞれの先日をしていたそうです。節分に豆をまくのは季節の変わり目に邪気(鬼)が生じるとい事で厄払いの為だそうです。

立春とは…一年の二十四節気の第一にあたり一年の始まりだったとか…。立春から夏までを春と呼び「春が始まった一日目」を意味しているそうです。



定着してきた!?

今年の恵方は…北北西 やや北ノ

節分に恵方(方角)を向いて
無言で食べると良いとされる
巻き寿司のこと

クラスだより

(0才児)



☆保育者に仲立ちしてもらいながら他児とのやり取りを楽しむ

☆安心、安全な環境で感染予防に努め健康に過ごす。

寒い日もありますが日差しがあるときは戸外活動しやすい時期になりました。ひよこ組さんは、散歩が大好き♡帽子をみるとイエーイと喜んでかぶせてほしいとジェスチャーしてきます。自分の靴もわかり、足を入れてみようとする姿もあり日々、成長を感じます。先生達と手を繋いで上手に歩くことができ、公園では走り回ることを楽しみながら、お友達の名前を呼んでみたりと笑顔いっぱいです。少しずつ自分でやりたいことが増えてきているので、その気持ちを認めてのばしていけるように接していきますね。

(1才児)



☆身の回りの事に興味を持ち自分でやってみようとする。

☆寒さに負けず、外遊びを楽しむ。

子ども達は生活の見通しが少しずつ分かるようになり、排泄・手洗い・着脱・食事など身の回りのことを進んでやろうという姿が見られるようになってきました。中には保育士の援助を嫌がる子も..「自分で!」という気持ちが強くなってきています。また、食後の着替えを自分のロッカーのビニール袋に入れる作業は、時々袋からはみ出してしまう事もあるのですが小さな手で入れようとする姿は何とも可愛い光景です。引き続き保護者の皆様には脱ぎ着のしやすい上着とズボンの準備をお願いしますね。

今年度も残り2ヶ月…。これまで以上に1日1日を大切に子ども達と楽しく過ごしていきたいと思います。

(2才児)



☆皆で、ルールのある遊びを楽しむ。

☆寒い日でも、室内外で、体を動かしたり元気に過ごす。

寒い日でも晴れ間が見えると、園庭中を走りまわって鬼ごっこを楽しんだり、鉄棒に挑戦したりして、体を動かすことを楽しんでいる子ども達。また、お部屋ではイス取りゲームや手を使わずお菓子取りゲームを楽しんだりしてルールのある遊びが、少しずつ分かってきてゲームを楽しんで子ども達です。でも、イスに座れず悔しくて泣いたり、手を使わず口だけで、頑張っている姿に、頑張ろうという気持ちが見られ、成長した姿が見られました。お友達と関わる中で、競い合ったり、励ましたりすることで、一人ひとりの成長が見られるようになり嬉しく思います。うさぎ組で、過ごすのも残り2ヶ月。生活面や、遊び遊びの面で、子ども達一人ひとりの目標が達成できるように、励まし見守ってきたいと思います。

(3才児)



☆季節の移ろいを感じながら、のびのび過ごす。

☆文字や数字への興味を高め遊びに取り入れる。

まだ寒い日もありますが園庭や窓の外の桜の花が咲いているのを見つくと「あ! さくらが咲いてる~!!」とウキウキのばんだ組さん。お散歩したり「お花見にも行きたいね」と活動への計画もみんなで考えるようになりました。天気の良い日は季節の移ろいも感じながら楽しいこと、いっぱいやりたいね! 室内ではトランプに夢中。いもほりのルールもバッチリ覚えて、カードがどこにあるかも、よく見てゲット。最近では、カルタ遊びのやり方もわかるようになり、数字に加え文字の遊びも楽しめるようになってきました。体を動かす遊びも好きだけど、文字、数字・・・数量などの感覚、人との関わり方、一緒に喜び協調性、一気に成長してきてますね。

(4才児)



☆冬の過ごし方を知り、手洗い・うがいをかける。

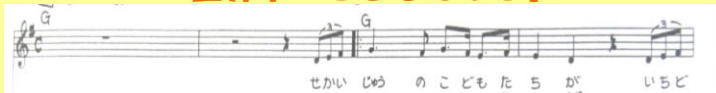
☆ルールのある遊びをたのしむ。

寒暖差のある日が続いたかと思ったら、急激に冷えたりと気候の変化がありますが子ども達はそんな寒さも何のその!! 寒さに負けず保育園の中は元気いっぱいの子どもの声に溢れています。晴れた日は「せんせい、園庭に行く?」と体を動かす遊びが大好き。外ではドッジボールやハンターごっこをお友達とルールを守りながらグループで遊ぶことを楽しんでいます。また、室内だからこそ、楽しめること、冬のこの季節だから楽しめる事を見つけながら今月も残り2か月を過ごしていきたいと思います。幼稚園へ向けて「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」を心がけて今一度、見直して整えていけたらいいなと思います。1日1日を大切に…。



元気の出るうた

「世界中のこどもたちが」



- 1、せかいじゅうの こどもたちが
いちどに わらったら そらも
わらうだろう ラララ うみも わらうだろう
- 2、せかいじゅうの こどもたちが いちどに ないたら
そらも なくだろう ラララ うみも なくだろう
ひろげよう ぼくらのゆめを とどけよう ぼくらのこえを
さかせよう ぼくらのはなを せかいに にじをかけよう
- 3、せかいじゅうの こどもたちが いちどに うたったら
そらも うたうだろう ラララ うみも うたうだろう





あんしん・あんぜんだより

安全だより 第4号
希望の星保育園
令和4年2月1日
園長 兼城佐代子

子どもは風の子！寒さに負けず外遊びで身体を存分に動かし楽しむ子ども達です。
「まん延防止等重点措置期間」が20日まで延長となり、まだまだ充分な対策が必要になります。
それでも戸外に出て、冬ならではの冷たい澄んだ空気を感じ体を動かしながら気分転換を計りましょう。
今月はこれからくる寒い時期ならではの安全な過ごし方についての情報をお伝えしていきます。

あっ！あつい！
やけどに気を付けて！

寒さが厳しくなってくると室内で過ごすことが増えてきます。コロナ禍の中での冬は例年より家庭で過ごすことが多くなることでしょう。
室内で起こる事故に十分に気を付けましょう。

…… ストーブやヒーター ……

・冬に1番多いのが「ストーブやヒーター」でのやけど。
ストーブに直接つかまり立ちをしたり、遊んでいる時に「側にあったストーブに手をついてのやけど」などがあります。

<予防法>

- ・囲いをたてたり、子どもの近くに置かない



<対処方>

- ・シャワーや濡れたタオルを当てて20～30分しっかりやす。
- ・皮膚が服にくっついていいるときは無理に脱がせず服の上から冷やす。
- ・水ぶくれができるひどいやけどの場合は速やかに病院へ行く。



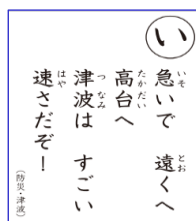
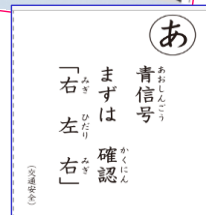
MEMO

幼児の皮膚は薄いので大人には熱くなくてもグリーンヒーターやカイロ、電気カーペット等による低温やけどなど、気づかないうちにやけどになることもあります。幼児の視線で生活の場を今一度見直してみてくださいね。

危険を学ぶ 防災カード

いろいろな災害に対して
「自分の命を守る」意識を育てています

らいおん組ではカード遊びをしながら防災について勉強していますよ～



カードは「全国労働者共済生活協同組合連合会（全労済）」ホームページからダウンロードをして先生たちが作りました。
興味のある方は作ってみて下さいね～

感染症の対策をしましょう

手洗い

帰宅後、トイレの後、食事前には、石けんで洗います。



うがい

帰宅後や、食事の前などにうがいをします。



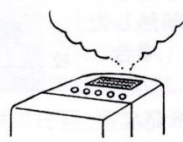
換気

時間を決めて、こまめに換気をします。



加湿

室内が乾燥しないように加湿器などを使用します。



使い捨てマスクを捨てる時は…



☆ビニール袋などに入れて、口を結んでごみ箱へ